

新規補助金概要シート

(1) 補助内容

番号	環境局事業部家庭ごみ減量課				
名称	「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業 圧縮・梱包等設備導入補助金				
交付先	新たなペットボトル回収・リサイクルシステムに取組む再資源化事業者				
交付目的	本市が新たに構築したペットボトル回収・リサイクルシステムに取組む再資源化事業者に対して、ペットボトルを減容し、一時保管するための圧縮・梱包等設備導入経費を補助することにより、大量のペットボトルを市内全域で効率的に回収し、将来にわたって安定的に取組める体制づくり(インフラ整備)を図ることを目的とする。				
事業の概要	新たなペットボトル回収・リサイクルシステムにて回収したペットボトルを、圧縮・梱包等を行うことができる設備を大阪市内で新設する場合に、導入費用の一部を補助する。				
2算定額及び積算	圧縮・梱包等設備導入補助: 圧縮・梱包等設備導入費 / 施設 × 補助率1/2 補助限度額: 1施設あたり4,000千円 補助限度額 4,000千円 / 施設 × 4施設 = 16,000千円(令和2年度予算算定額)				
事業開始年度	令和2年度	交付方法	通常払い(補助金額確定後)		
根拠規定等	法律	条例	規則	契約・債務負担行為等	要綱
法律・条例等の名称					
補助率等	補助基準額: -、補助率: 1/2(上限: 4,000千円 / 施設)				
財源の有無	国 (1/2)	府 ()	その他()	()	無
本市以外からの直接補助	国 ()	府 ()	その他()	()	無
交付先の分類	法人				
性質別分類	施設整備事業補助				
終期	令和2年度				
公募	有(提案型)	有(提案型以外)		無	
市民の参画	有	無			
再補助の有無	有	無	有の場合 その理由		

(2) ガイドラインにおける基本的視点

基本的視点		説明
1	「必要性」(目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められる)	これまで、ペットボトルは、「廃棄物」として行政において収集からリサイクルまでを担ってきたことから、大阪市内の民間事業者の中に、ペットボトルを専用で圧縮・梱包等を行う施設がなく、現行では、西宮市にある民間施設の1施設しか対応できない状況となっている。しかしながら、今後、「有価物」として取扱う本取組みが、市内全域で対応し、持続可能なリサイクルシステムとしていくためには、現行の民間資本だけでは不十分であることから、本市が補助制度を創設することで、民間事業者で対応できる基盤整備を行う必要がある。
2	「妥当性」(対象経費や金額、補助率が妥当かつ明確である)	・輸送効率や参画事業者拡大への繋がり等を踏まえ、ペットボトル排出量に対応できる処理能力基盤を構築するためには、圧縮・梱包等設備導入費を補助対象経費とすることは妥当である。 ・また、対象経費、補助率及び上限額を規定するとともに、その対象経費に補助率を乗じた経費と上限額の比較を行い、低い額を採用することから、妥当性はあり、明確なものとなっている。
3	「有効性」(補助効果があり、他の手法でなく補助によることが施策目的の実現に最適である)	市内のどの地域でも対応できる輸送効率と最大排出量にも対応できる基盤を構築するためには、導入費用の負担を軽減することが施策目的の実現に向け、最適な手法である。
4	「公平性」(他団体や市民との間で公平であり、交付先が適正に決定されている)	交付の対象となる圧縮・梱包等設備について、補助要件等の明確な基準を設け、適正かつ公平に交付先を決定する。

(3) 補助効果の測定

効果測定方法	(目標値) ・実施地域数・・・実施地域(小学校区)を164地域(全体の50%)まで拡大(令和4年度まで)
--------	---